

# 2024年度第1回 町田市学びの多様化施策検討委員会

※「町田市不登校施策検討委員会」は、2024年4月1日から「町田市学びの多様化施策検討委員会」へ名称を変更しました。

2024年5月8日（水）15：30-17：00

町田市庁舎 10-2・3

# 本日の議題

- 1 不登校対応マニュアルの改訂について
- 2 分教室型学びの多様化学校の設置について
- 3 校内教育支援センターの実績について
- 4 学びの多様化プロジェクトに係る児童生徒状況調査について

学びの多様化プロジェクト2024-2028

2023年12月  
町田市教育委員会

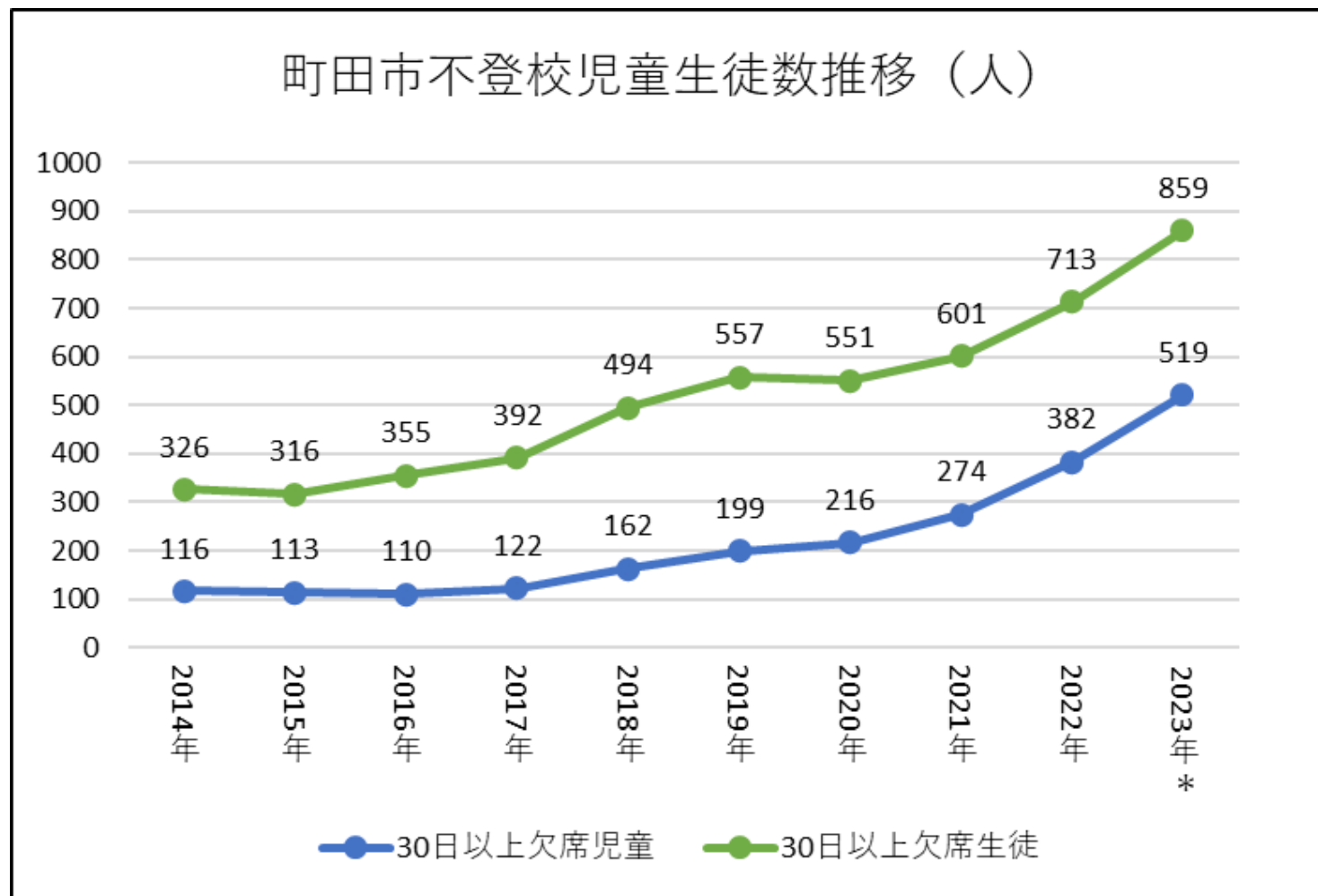
学校に行く子も行かない子も、安心して育つまちだ

## 2023年度の振り返り

当委員会は、町田市が不登校児童生徒支援として行う施策について、専門的見地から各委員にご意見をいただくものです。

2023年度は、町田市が取り組む施策について、『学校に行く子も行かない子も、安心して育つまちだ』を基本方針に掲げる「町田市学びの多様化プロジェクト2024-2028」を策定しました。

# 【速報】2023年度不登校児童生徒数速報値



中学生が146人増（20%増）、  
小学生が137人増（36%増）と  
なる見込みです。

※町田市独自調査による速報値のため、数値は確定前のものです。

---

# 2「分教室型 学びの多様化学校」 の設置について



# 03 学びの場の確保

子どもの心身の調子が整っていれば、多様な学びの場を考えることもできます。学校内でも通いやすい場所や、学校以外で学習できる場などがあります。その時々で、子どもにとって必要な場が変わりますので、相談しながら検討します。町田市では、子どもの多様な学びの場の確保に取り組みます。  
※最終ページの二次元コードから、町田市における不登校支援情報一覧を掲載するホームページにつながります。

※実線の枠線は2023年度現在既に実施しているもの、二重線の枠線は今後新たにに取り組むものになります。

## 新規

### 【学びの多様化学校】

不登校児童生徒に配慮した授業を組むことができる学校、「学びの多様化学校」を開設します。授業開始を遅く設定したり、少人数授業で学習の遅れを取り戻したりする等、一人ひとりの状況に応じた学びが可能です。

在籍学校以外へ再チャレンジする場となり、学習も積み重ねやすいので、進路選択の幅が広がります。

2025年度から、「学びの多様化学校」に先行して、教室単位の「分教室型学びの多様化学校」を開設します。



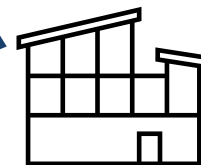
教育支援センター分室を併設し、学びの多様化施策の拠点とします

### 【教育支援センター】 けやき教室・くすのき教室

町田市内在住の、不登校または不登校傾向の児童生徒が通う教室です。教育センターの中に設置されています。見学・体験をしてから、通うかどうか決められます。

それぞれの教室では、小集団による学習指導や実技授業、野菜作りやもの作りなどの体験学習、社会生活上必要なスキルを学ぶソーシャルスキルトレーニングなどを行います。

休み時間には友だち同士でサッカーや卓球などして、賑やかに過ごしています。



# 「学びの多様化学校」とは・・・

## ○学校教育法施行規則（H17改正）

不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する必要があると認められる場合、特定の学校において教育課程の基準によらずに**特別の教育課程を編成することができる**とする**特例措置**によって文部科学大臣から指定された学校をいう。

## ◆構造改革特別区域法（平成14年）

特例措置に基づき、文部科学大臣が指定する、不登校児童生徒に配慮した特別の教育課程を編成した学校。

## ◆教育機会確保法（平成28年）

第10条：国及び地方公共団体は、**不登校児童生徒に対しその実態に配慮して特別に編成された教育課程に基づく教育を行う学校の整備及び当該教育を行う学校における教育の充実のために必要な措置を講ずるよう努めるもの**とする。

⇒特例校の設置促進（平成29年 ◆基本方針にて）

## —各校の特色ある教育課程【参考】—

- ・年間の総授業時間数を2割程度削減
- ・朝の時間や放課後のゆとりを考え、午前2時間、午後2時間を基本とした時程
- ・「コラボレイト」を新しく教育課程に位置付け、国語、社会及び総合的な学習の時間を融合した授業を実施する。

# 「学びの多様化学校」の設置状況（令和6年度）

○「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について（通知）」  
【4文科初第2817号・令和5年3月31日付】

文部科学省としては、  
分教室型も含め全国300校の設置を目指す

学校設置型

分教室型

※法令上は「学級」の扱い

不登校特例校を設置する場合は、通常の義務教育の学校と同様、教職員の給与の1/3は国庫で負担される。

全国で35校（公立：21校 私立：14校）

★2023年度当初と比べると全国で11校増加した。

<2024年4月1日開校（公立）>

大阪市立心和中学校【大阪市教育委員会】

大田区立大森第四小学校学びの多様化学校分教室みらい学園初等部【大田区教育委員会】

大牟田市立宅峰中学校ほしぞら分校【大牟田市教育委員会】

北方町立北学園特例教室「オンリー1」【北方町教育委員会】

高山市立学びの多様化教室「にじ色」【高山市教育委員会】

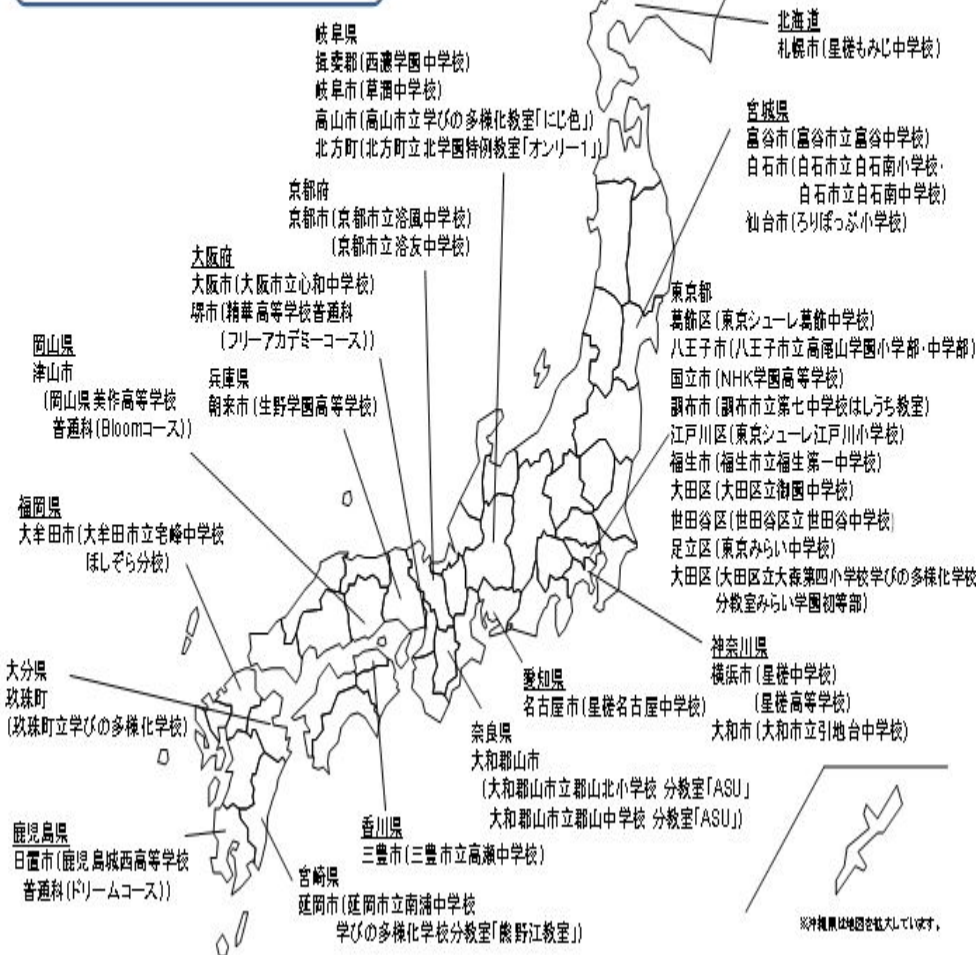
玖珠町立学びの多様化学校【玖珠町教育委員会】

延岡市立南浦中学校学びの多様化教室分教室「熊野江教室」【延岡市教育委員会】

## 「学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）」の設置状況(R6)

学校数(35校)

【うち、公立学校21校、私立学校14校】

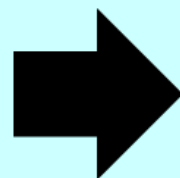


# 東京版 学びの多様化学校 スキーム

## STEP1

分教室の形で学びの  
多様化学校を設置

※ 分教室:本校から分離し、他の建物の一部を使用して設置する教室

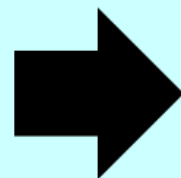


☆ 施設整備等に係る負担が比較的小さく、早期設置が可能

☆ 都の教職員定数配当基準に基づき、適切に正規教員を配置し、児童・生徒の学力を保障

## STEP2

将来的に学校へ移行



☆ 学校設置基準等に基づく施設設備や指導体制の充実により、教育環境が向上



# 「学びの多様化学校」の参考例

## 学校設置型

## 岐阜市立草潤中学校<令和3年開校>

- 県費教職員19名(正規・常勤)、市費教職員8名
- 中心市街地の廃校となった小学校を活用
- 「学校らしくない学校」を目指す
  - ・日課選択、自分が好きな校内の場所での学習、行事内容等生徒が決定
  - ・校内には多くのフリースペース
- かつての在籍校で不登校を経験した生徒、各学年で約13名程度、計40名在籍(定員)
- 生徒は岐阜市全域より通学



# 「学びの多様化学校」の参考例

岐阜市立草潤中学校<令和3年開校>

## 学校設置型

### <教育課程について>

- 年間授業時数770時間  
(一般校は1015時間)
- 音楽、美術、技術家庭を  
「セルフデザイン」として統合
- 3つのパターンの日課表から  
学びのスタイルを選択

- ①家庭での学習を基本(2週に1度の登校)
  - ・オンラインによる授業視聴等
  - ・放課後オンラインによる相談を実施
- ②家庭で学習し週に数日登校
- ③毎日登校



日課表①(家庭での学習を基本にする学びのモデル)

|     | 50分授業       | 月                                 | 火        | 水        | 木        | 金    |
|-----|-------------|-----------------------------------|----------|----------|----------|------|
| 始業  | 9:30        | 2週間に1度程度 学習相談として登校                |          |          |          |      |
| WU  | 9:35~9:45   | 自分一人でウォームアップ                      |          |          |          |      |
| 1   | 9:55~10:45  | 家庭学習                              | 家庭学習     | 家庭学習     | 家庭学習     | 家庭学習 |
| 2   | 10:55~11:45 | 家庭学習                              | 家庭学習     | 家庭学習     | 家庭学習     | 家庭学習 |
| 昼食  | 11:50~12:15 | 私は、基本は、家庭で学習！<br>Onlineや電話で相談するよ。 |          |          |          |      |
| 昼休み | 12:15~12:30 |                                   |          |          |          |      |
| 3   | 12:30~13:20 | 家庭学習                              | 家庭学習     | 家庭学習     | 家庭学習     | 学習相談 |
| 4   | 13:30~14:20 | Online学習                          | Online学習 | Online学習 | Online学習 | 学習相談 |
| CD  | 14:25~14:35 | 自分一人でクールダウン                       |          |          |          |      |
| 終業  | 15:00~15:15 | 家庭で学習した生徒用のOnlineクールダウン           |          |          |          |      |

日課表②(家庭で学習し、週に数日登校する学びのモデル)

|     | 50分授業       | 月                        | 火       | 水             | 木       | 金             |
|-----|-------------|--------------------------|---------|---------------|---------|---------------|
| 始業  | 9:30        | 1週間に2日程度の登校              |         |               |         |               |
| WU  | 9:35~9:45   | Onlineウォームアップ            | ウォームアップ | Onlineウォームアップ | ウォームアップ | Onlineウォームアップ |
| 1   | 9:55~10:45  | 家庭学習                     | 国語      | 家庭学習          | 英語理科社会  | 家庭学習          |
| 2   | 10:55~11:45 | 家庭学習                     | 数学      | 家庭学習          | 総合      | 家庭学習          |
| 昼食  | 11:50~12:15 | 私は火曜日と木曜日に登校するよ！         |         |               |         |               |
| 昼休み | 12:15~12:30 |                          |         |               |         |               |
| 3   | 12:30~13:20 | 家庭学習                     | セルフデザイン | 家庭学習          | 総合      | 家庭学習          |
| 4   | 13:30~14:20 | Online学習                 | セルフデザイン | Online学習      | 総合      | Online学習      |
| CD  | 14:25~14:35 | 目ガテクールダウン                | クールダウン  | 目ガテクールダウン     | クールダウン  | 目ガテクールダウン     |
| 終業  | 14:35       | 15:00~15:15 Onlineクールダウン |         |               |         |               |

日課表③(毎日登校する学びのモデル)

|     | 50分授業       | 月                             | 火       | 水       | 木       | 金       |
|-----|-------------|-------------------------------|---------|---------|---------|---------|
| 始業  | 9:30        | 始業時刻は遅いよ！                     |         |         |         |         |
| WU  | 9:35~9:45   | ウォームアップ                       | ウォームアップ | ウォームアップ | ウォームアップ | ウォームアップ |
| 1   | 9:55~10:45  | 社会                            | 数学      | 理科      | 英語      | 国語      |
| 2   | 10:55~11:45 | 英語                            | 理科      | 国語      | 社会      | 数学      |
| 昼食  | 11:50~12:15 | 早く帰れるよ！放課後の個別の活動も相談に乗ってもらえるよ！ |         |         |         |         |
| 昼休み | 12:15~12:30 |                               |         |         |         |         |
| 3   | 12:30~13:20 | 国語                            | セルフデザイン | 数学      | 総合      | 英語      |
| 4   | 13:30~14:20 | 体育                            | セルフデザイン | 体育      | 総合      | 体育      |
| CD  | 14:25~14:35 | クールダウン                        | クールダウン  | クールダウン  | クールダウン  | クールダウン  |
| 終業  | 14:35       | 原則として毎日登校                     |         |         |         |         |

# 「学びの多様化学校」の参考例

## 分教室型

調布市立第七中学校はしうち学級<平成30年~>

- 都費教職員9名  
(正規4名※分教室主任、各学年担任)
- 市費教職員5名
- 市の施設の2階フロアを活用
- かつての在籍校で不登校を経験した生徒各学年15名定員現在は12名在籍
- 全員が調布市立第七中学校に籍を置く
- 授業、行事はすべて「はしうち教室」単位で実施
- 市教育支援センターや校内中間教室等とあわせ、多様な学びの場の一つとしての位置づけ



# 「学びの多様化学校」の参考例

調布市立第七中学校はしうち学級<平成30年~>

## 分教室型

### <教育課程について>

○年間授業時数910時間

(一般校は1015時間)

○特色のある授業

・毎日10分の「CST」※コミュニケーションスキルトレーニング

(年70時間)

・「個別学習」の実施。不登校による未学習の内容を補う時間を確保

(年70時間)

・「表現科」にて、演劇コミュニケーションワークショップを実施。

(年55時間)



ひとつの教室で授業。  
一斉指導の形式で、  
他の職員が個別支援に入る。



はしうち教室での  
校外学習  
in 木島平、松本

# <参考1>「学校設置型」「分教室型」設置比較

| 形態                         | 学校設置型   | 分教室型  |
|----------------------------|---|---|
| 学校名                        | 岐阜市立草潤中学校   | 調布市立第七中学校はしうち学級   |
| 教職員数                       | <p>○県費 19名<br/>校長教頭、教諭6、養護<br/>※通級指導/日本語指導加配等<br/>○市費講師・職員 8名<br/>教科担任、校務員、司書、SC等</p>     | <p>○都費9名(定数4名、その他加配)<br/>教室主任、教諭3<br/>※担任、教科担任4、養護1<br/>○市費講師・会計年度職員5名<br/>(教科担任4+SC)<br/>※技術家庭は本校から正規教員が派遣</p> |
| <p>環境整備</p> <p>※人件費は除く</p> | <p>開校前準備経費 }<br/>[施設整備費] } 約3500万円<br/>※その他、寄付金・ふるさと納税<br/>[ランニングコスト]<br/>※「小規模中学校程度」</p> | <p>[開校前準備経費] }<br/>[施設整備費] } 約130万円<br/><br/>[ランニングコスト]<br/>※本校予算から配分(額不明)</p>                                  |

## <参考2>「学校設置型」「分教室型」設置比較スケジュール

| 形態       | 学校設置型  | 分教室型  |
|----------|--|---|
| 学校名      | 岐阜市立草潤中学校  | 調布市立第七中学校はしうち学級   |
| 設置スケジュール | <p>～R1 有識者等との意見交換</p> <p>R1～開校に向けた準備<br/>・県教委、文科省と協議開始</p> <p>R2～文科省への申請<br/>・市教委内設立準備室設置</p> <p>R3.4 開校<br/>・準備室長が校長に</p> | <p>H29.1 調布市教委内検討・協議</p> <p>H29.3 都教委、文科省と協議開始</p> <p>H29.6 調布市教委特例校開設決定</p> <p>H29.8 市議会に説明</p> <p>H29.11 入学希望児童・保護者説明会</p> <p>H29.12 文科省への本申請</p> <p>H30.4 開校</p> |

## ◆町田市版 分教室型学びの多様化学校

○設置形態 町田市立中学校の分教室型

○設置予定 2025年4月1日

○設置場所<<予定>>

町田市教育センター 町田市木曾東3-1-3

【2025年4月1日~5月31日】

東京都立町田の丘学園山崎校舎 町田市山崎1-2-17

【2025年6月1日~】

○対象生徒 市内在住の不登校の中学生 30名程度を想定  
(各学年10名)

### <参考3>学びの多様化学校(分教室)とは・・

一般の小・中学校を母体とする本校をもち、一部の学級のみを学びの多様化学校として指定する。

| 学校名                | 設置場所           |
|--------------------|----------------|
| 東京都調布市立第七中学校はしうち教室 | 市民大町スポーツ施設内    |
| 東京都福生市立福生第一中学校7組   | 市民会館さくら会館2階    |
| 東京都大田区立御園中学校みらい学園  | 旧池上図書館を全面改修    |
| 宮城県富谷市立富谷中学校西成田教室  | 西成田コミュニティセンター内 |
| 神奈川県大和市立引地台中学校分教室  | 大和市立柳橋小学校敷地内   |
| 香川県三豊市立高瀬中学校(夜間学級) | 三豊市立高瀬中学校内     |
| 東京都世田谷区立世田谷中学校ねいろ  | 教育センター(教育会館)2階 |



# ◆町田市版 分教室型学びの多様化学校

## <教育課程のイメージ：特別な教育課程を編成>

### ・不登校生徒に実態に配慮した授業時数及び科目の設定

→年間の授業時数を910時間に削減（標準年間総授業時数1015時間）

ア.毎日、生徒自身が見通しをもつための時間と、その日を振り返り、次の日の意欲につなげるための時間を設定

イ.国語科、社会科、数学科、理科、外国語科のそれぞれ取扱う内容の一部を新教科「探究の時間」として取扱う。

ウ.音楽科、美術科、技術・家庭科においては、統合教科「芸術の学び」とし、「探究」「表現」「体験」を通した学習活動の充実を図る。

エ.総合的な学習の時間は、キャリアの学習内容をより充実させるために新名称教科「キャリア総合」として取扱う。

オ.地域社会の一員として社会参画の意識を醸成するために、ゲストティーチャーの招聘及び地域人材と連携した協働活動等の充実を図る。

## <参考4> 先行事例の特別な教育課程の概要

### ○大田区立御園中学校みらい学園（東京都）

- ・各学年の年間総授業時数は980時間。
- ・50分授業を午前3単位時間・午後2単位時間（1限～5限）、25分授業を午後1単位時間（6限）の6校時を基本
- ・新設科目「キャリア教育」では、中学校での学習と自分の将来とのつながりを意識することを目的とし、進路指導の充実を図る。職業調べや職場体験等の職業について知見を広げるだけでなく、社会と自分のつながりについて考える単元も設定するなど、年間指導計画を立てて3年間を通して継続して実施。
- ・「キャリア教育」の授業の中で、特別活動や総合的な学習の時間の内容も扱う。

### 時程表

|   |             |
|---|-------------|
| 登校  | ～9:00       |
| 朝活動   | 9:00～9:05   |
| リフレッシュタイム<br>(体育)                                       | 9:05～9:15   |
| 1校時   | 9:20～10:10  |
| 2校時   | 10:20～11:10 |
| 3校時   | 11:20～12:10 |
| 昼食・昼休み  | 12:10～12:55 |
| 4校時   | 13:00～13:50 |
| 5校時   | 14:00～14:50 |
| 個別学習  | 15:00～15:25 |
| 終学活   | 15:25～15:35 |
| 生徒下校時間<br>(月・火・木・金) 15:40<br>(水) 15:00<br>※昼食は弁当等になります。 |             |

## <参考4> 先行事例の特別な教育課程の概要

### ○福生市立福生第一中学校7組（東京都）

- ・9:00登校、15:35下校
- ・一コマ50分授業。総授業時数は910時間。
- ・朝の10分間、運動をするための「リフレッシュタイム」を設定
- ・国語、社会、数学、理科、外国語の授業時数の削減
- ・自分の興味・関心に基づき、自分なりの問いを立て、自分なりのやり方で、自分なりの答えにたどり着くことができる力を育むための「プロジェクト学習」を設定
- ・一人一人の学習状況に応じた指導体制の充実を図り、不登校による未定着の内容を補う時間を確保するため、「個別学習」の時間を設定。



# 3 校内教育支援センターの実績について

## 校内教育支援センターの位置づけ

|                  |  | 1 令和6年度不登校施策（新規・拡充）の重点                                    |                        |                            |    |
|------------------|--|---|------------------------|----------------------------|----|
| 令和6年度<br>新規・拡充事業 |  | 未然防止<br>全ての児童・生徒への支援                                      | 早期支援<br>休み始めた児童・生徒への支援 | 長期化対応<br>休みが長期化した児童・生徒への支援 |    |
| 校内               | 直接支援   | 不登校対応加配・不登校対応専門教員の配置<br>不登校出現率が高い学校に教員を加配し、校内で不登校対応の中心を担う |                        |                            |    |
|                  |  | スクールカウンセラーの配置<br>心理に関する専門家による、児童・生徒に寄り添ったメンタルケアの充実        |                        |                            |    |
|                  |  | 校内別室指導支援員の配置<br>学級で過ごすことが難しい生徒に対して、別室で学習指導や相談対応           |                        |                            |    |
|                  |  | 不登校特例校の設置支援(本校型、校外分教室型)<br>生徒の実態に配慮した学校教育の実施              |                        |                            | 拡充 |
|                  |  | チャレンジクラス(不登校対応校内分教室)<br>生徒の実態に配慮した学校教育の実施                 |                        |                            | 新規 |
|                  | バーチャル・ラーニング・プラットフォームの実施<br>仮想空間を利用した学びの場の提供(校内別室・不登校特例校等)                              |   |                        | 拡充                         |    |
|                  | 小学校教科担任制の導入<br>授業の質の向上及び相談体制の構築  |   | 拡充                     |                            |    |
|                  | エデュケーション・アシスタントの配置<br>担任を補完する支援員を配置し、個別ケア等の支援を実施                                       |   | 拡充                     |                            |    |
|                  | ノウハウ   | 不登校対応巡回教員の配置<br>特定の学校だけでなく、地区内の学校を広くカバーし、全中学校の不登校対応力を向上   |                        |                            | 新規 |
|                  |  | 対応事例のデータベースの公開<br>地区から効果的な事例を収集し、都教育委員会のホームページに掲載         |                        |                            |    |
| 学校外              | スクールソーシャルワーカーの機能強化(区市町村への不登校対応支援事業)<br>不登校を未然に防止するという観点からガイドライン・研修体系を構築し、学校内外の支援体制を強化  |   |                        | 新規                         |    |
|                  | スクールソーシャルワーカーの配置<br>学校だけでは難しい問題に福祉面から支援  |   |                        |                            |    |
|                  | 不登校児童・生徒の社会的自立に向けた体験活動プログラムの実施<br>不登校児童・生徒への多様な教育機会を確保するため、効果的な体験活動のプログラムを提供し、社会的自立を支援 |   |                        |                            |    |
|                  | 教育支援センター機能強化補助事業の実施<br>学校に通うことが難しい生徒に対する、居場所づくりや学習支援等の取組を支援                            |   |                        | 拡充                         |    |
|                  | バーチャル・ラーニング・プラットフォームの実施<br>仮想空間を利用した学びの場の提供(教育支援センター)                                  |   | 拡充                     |                            |    |
| その他              | フリースクール調査研究の実施<br>フリースクールでの生徒・保護者の支援ニーズや活動内容の把握  |   |                        |                            |    |

## 2023年度校内教育支援センター活動実績（速報値）

### 配置状況

市内4校に、指導員1名ずつ、共通のSSW1名。

2023年度9月～開始。（※1校のみ10月～）

### 対応実績

| 指導員    | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計   |
|--------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 学習指導   | 62 | 246 | 99  | 272 | 236 | 204 | 194 | 1313 |
| 相談対応   | 48 | 105 | 92  | 177 | 86  | 103 | 66  | 677  |
| アウトリーチ | 0  | 0   | 24  | 34  | 48  | 59  | 36  | 201  |
| 電話対応   | 0  | 0   | 7   | 10  | 7   | 10  | 9   | 43   |
| 校内連携   | 60 | 175 | 110 | 288 | 225 | 252 | 198 | 1308 |

| SSW    | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月  | 合計  |
|--------|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|
| 学習指導   | 2  | 80  | 40  | 19  | 13 | 39 | 41  | 234 |
| 相談対応   | 2  | 42  | 30  | 13  | 13 | 40 | 41  | 181 |
| アウトリーチ | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 1  | 0   | 1   |
| 電話対応   | 0  | 0   | 0   | 8   | 0  | 0  | 0   | 8   |
| 校内連携   | 5  | 63  | 38  | 77  | 26 | 64 | 203 | 476 |

## 4 学びの多様化プロジェクトに係る児童生徒状況調査について

---

### ○目的

町田市における不登校施策利用者へのアンケート調査・ヒアリング調査等による「学びの多様化プロジェクトに係る児童生徒状況調査」を実施し、2025年度に開始する分教室型学びの多様化学校の運営等、今後の不登校施策の検討に資することを目的とします。

### ○前提：下記関連法令等の趣旨を反映させる

- ・ こども基本法「こども又はこどもを養育する者その他関係者からの意見を反映すること」
- ・ 町田市子どもにやさしいまち条例「参加する権利」を念頭に取り組みます。
- ・ 「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン～こども・若者の声を聴く取組のはじめ方～」

※文部科学省の「教育支援体制整備事業費補助金 学びの多様化学校設置促進」を活用

# 調査票の構成

## 学びの多様化プロジェクトに係る児童生徒状況調査項目（案）

### <目的>

- 「分教室型学びの多様化学校」の必要性（ニーズ）を把握する
- 「分教室型学びの多様化学校」の機能のニーズを把握する

児童・生徒

11問

|    | 調査項目            |
|----|-----------------|
| 1  | 学年              |
| 2  | 日中過ごす場所         |
| 3  | その場所で過ごすきっかけ    |
| 4  | 日中していること        |
| 5  | 相談できたか          |
| 6  | 相談した人           |
| 7  | 手助けが必要なこと       |
| 8  | 学びの多様化学校への登校の希望 |
| 9  | 学びの多様化学校でしたいこと  |
| 10 | 安心できる場所         |
| 11 | これからしたいこと       |

保護者

19問

|    | 調査項目             |
|----|------------------|
| 1  | 子どもとの関係          |
| 2  | 子どもの学年           |
| 3  | 日中過ごす場所          |
| 4  | その場所で過ごすようになった時期 |
| 5  | その場所で過ごすきっかけ     |
| 6  | 相談できたか           |
| 7  | 相談した人            |
| 8  | 子どもの様子           |
| 9  | サービスの認知度         |
| 10 | サービスの認知度利用状況     |

調査項目

|    | 調査項目            |
|----|-----------------|
| 11 | サービスの満足度        |
| 12 | 利用のきっかけ         |
| 13 | 子どもの勉強状況        |
| 14 | 学びの多様化学校への登校の希望 |
| 15 | 学びの多様化学校でのサポート  |
| 16 | 学びの多様化学校教員のスキル  |
| 17 | 相談ニーズ           |
| 18 | 市への要望           |
| 19 | ヒアリングの協力        |

# 学びの多様化プロジェクトに係る児童生徒状況調査の今後の予定

| 【上期】     | 2024年 |   |   |     |   |   |       |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
|----------|-------|---|---|-----|---|---|-------|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|
|          | 4月    |   |   | 5月  |   |   | 6月    |   |   | 7月 |   |   | 8月 |   |   | 9月 |   |   |
|          | 上     | 中 | 下 | 上   | 中 | 下 | 上     | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 |
| 業務設計     | ⇒     |   |   |     |   |   |       |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| アンケート調査  |       | ⇒ | ⇒ | ⇒   | ⇒ | ⇒ | ⇒     | ⇒ | ⇒ |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| ヒアリング調査  |       |   |   |     |   |   |       |   |   | ⇒  | ⇒ | ⇒ | ⇒  | ⇒ | ⇒ |    |   |   |
| フリースクール等 |       |   |   |     |   |   |       |   |   |    |   |   |    |   |   | ⇒  | ⇒ | ⇒ |
| 【下期】     | 2024年 |   |   |     |   |   | 2025年 |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
|          | 10月   |   |   | 11月 |   |   | 12月   |   |   | 1月 |   |   | 2月 |   |   | 3月 |   |   |
|          | 上     | 中 | 下 | 上   | 中 | 下 | 上     | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 |
| フリースクール等 | ⇒     | ⇒ | ⇒ | ⇒   | ⇒ | ⇒ |       |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| 報告会      |       |   |   |     |   | ⇒ | ⇒     | ⇒ | ⇒ | ⇒  | ⇒ | ⇒ |    |   |   |    |   |   |
| 報告書の作成   |       |   |   |     |   |   |       |   |   |    |   |   | ⇒  | ⇒ | ⇒ | ⇒  | ⇒ |   |